

平成29年度 斜里町水道事業の決算状況について



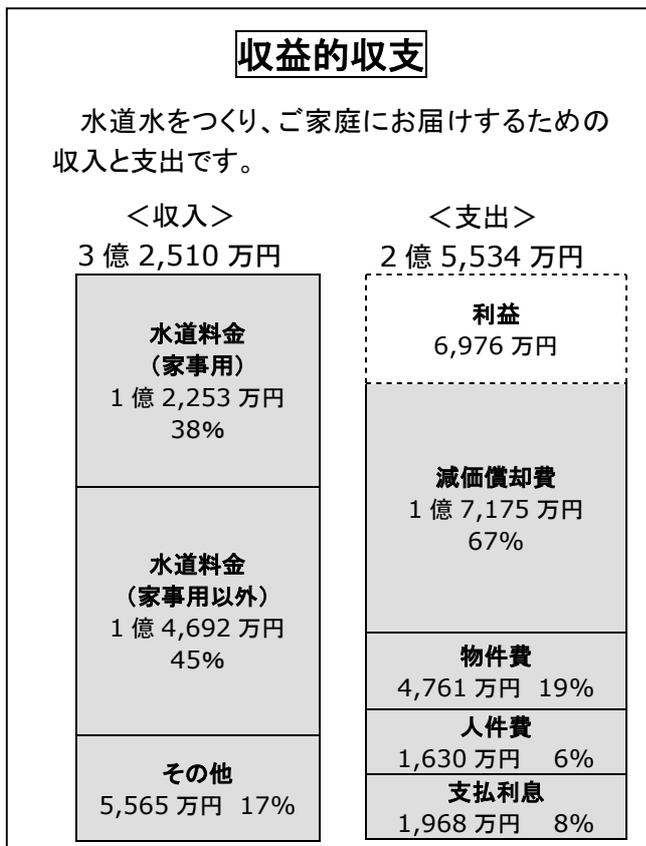
水道事業は、皆さんにお支払い頂いた水道料金をもとに、斜里市街地域・ウトロ地域への水道供給を行っています。

平成29年度の決算状況の概要についてお知らせします。

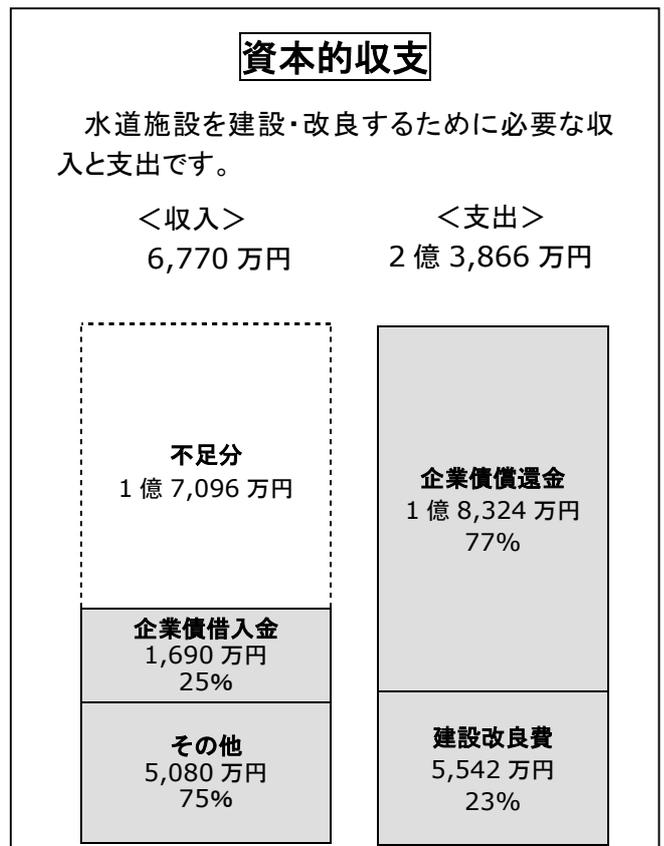
1. 平成29年度の決算状況について

今年度の事業収支の内訳については、以下のとおりです。水道事業会計には、「収益的収支」と「資本的収支」の2種類があります。

今年度の収支結果は、単年度で6,976万円の黒字となりました。



物件費 委託料、修繕費、光熱費、物品購入費など
支払利息 企業債償還金(借金)の利息
減価償却費 経年劣化により減少した資産の価値を補てんする経費。
利益 黒字です。黒字に伴い預金が増額となりました。累積赤字は、1億5,719万円です。



企業債 借金です。返済残高は23億8,244万円です。
建設改良費 老朽管更新工事、配水管新設工事、メーター取替え工事の費用など
不足分 減価償却費などの内部留保資金を充当

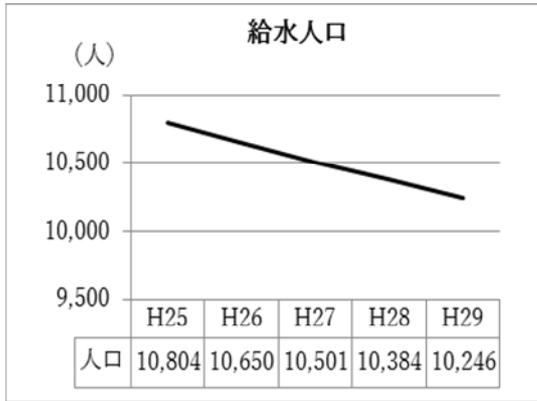
2. 今後の方針

安心・安全な水道水の供給を継続するため、水道事業を次のとおり運営します。

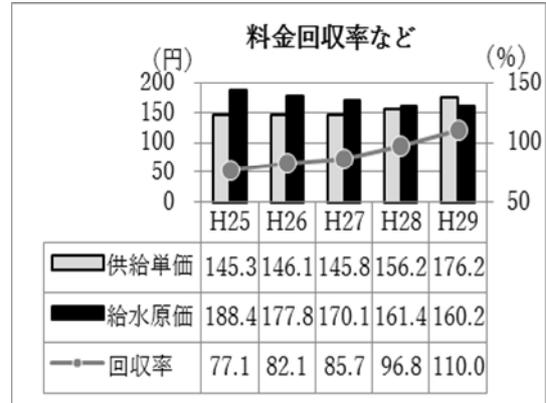
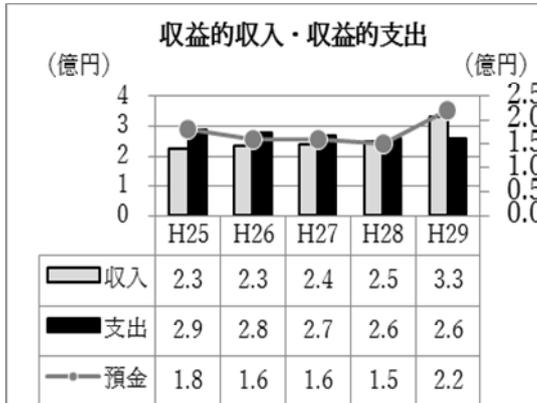
- ①支出の抑制 ~ 支出の見直しを継続し、さらなる経費圧縮を目指します。
- ②滞納対策 ~ 収納率の向上を目指します。
- ③料金の適正化 ~ 決算状況や今後の事業計画を精査し、適正な料金設定を行います。
- ④経営状況の開示 ~ 広報・ホームページを通じ、決算状況を広く周知します。

3. 過去5年間の推移

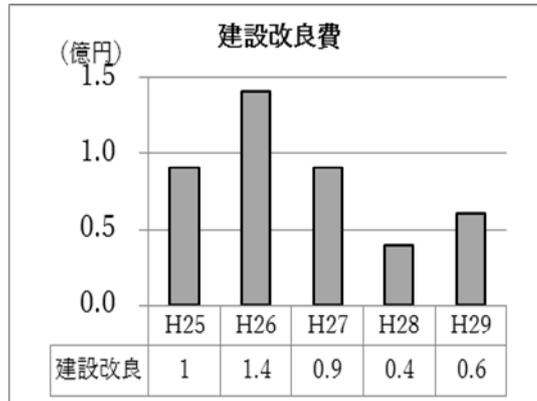
料金改定により平成29年度の料金収入が増額となりました。



- 近年の人口減少に伴う利用者数の減少、節水機器の普及、景気回復の遅れなどにより料金収入の減少傾向が続いてきましたが、料金改定により収入が増額となりました。
- 今後も給水人口の減少が続き、使用水量の減少による料金収入の減少傾向が続く見込みです。
- 供給単価（販売単価）が給水原価（製造単価）を上回りました。



経営状況改善に努めています



- 建設改良費は、老朽管やメータ器の更新など、最低限の工事の実施としています。
- 企業債（借金）の残高は減少しています。
- 料金の滞納額（未収金）は、早期の納付相談や給水停止などを行い、解消に努めます。

